

◆春照宿の概要

春照は、その昔「水上」と称されていた頃、たびたび大火に見舞われ、困り果てた村人が、行者に相談したところ地名がよくないということから、村名を春照と改めたと伝えられています。

春照宿は、北陸への宿場であると同時に、長浜からの湖上交通の中継拠点でもありました。また、加賀前田家ははじめ、福井藩、鯖江藩、小浜藩など北陸の雄藩が参勤交代に利用しました。藤川宿からは一里十町、小谷宿へは三里二町の位置にあります。

度重なる大火により、あまり資料は残っていないようですが、宿場の規模としては、本陣一軒、脇本陣二件、北国屋、ます屋、若狭屋、亀屋、角屋、松浦屋、福井屋などの旅籠や茶屋が軒を連ね、伊吹大根などの名物が売られ、賑わいを見せていたようです。

神が祀られており、春照の氏神として信仰を集めています。姉川合戦に向かう織田信長が戦勝祈願したとも伝えられています。

この八幡神社の道角に道標があり、「右 北国 きのもと えちぜん 道」「左 ながはまみち」と刻まれています。春照宿の中を通ってきた街道は、この八幡神社で別れ、左へ進めば朽木街道と呼ばれる長浜湊へ向かいます。右に折れ北へ進むのが北国脇往還で、木之本や越前へと続いているのです。



八幡神社

宿場の南側には、常夜燈があります。秋葉神社の常夜燈で、文政十一年（一八二八）に建立されています。



春照宿のまちなみ



常夜燈

◆ステンシヨ道

常夜燈から南西へ下る道は通称「ステンシヨ道」



道標

◆伊吹山文化資料館

北国脇往還をはじめ、町内の遺跡、伊吹町の暮らし、伊吹山と山麓の自然・文化などをテーマに幅広く展示されており、楽しく学べる施設。建物は、春照小学校春照分校を改修し、平成十五年（二〇〇三）「全国リニューアル五十選」に選ばれています。手作りの素朴な展示がノスタルジックな気分させます。



伊吹山文化資料館



春照宿散策マップ

ステンシヨ道」と呼ばれています。明治十六年（一八八三）から二十二年（一八八九）まで、関ヶ原から長



ステンシヨ道 現在のようす

◆道標

春照宿の西（北）のはずれに八幡神社があります。天智七年（六六八）の創建と伝えられ、応神天皇をはじめ四